

MACF 礼拝説教要旨

2022年10月16日

「主の祈り」

ルカによる福音書 11 章 1 イエスはある所で祈っておられた。祈りが終わると、弟子の一人がイエスに、「主よ、ヨハネが弟子たちに教えたように、わたしたちにも祈りを教えてください」と言った。

2 そこで、イエスは言われた。「祈るときには、こう言いなさい。『父よ、御名が崇められますように。御国が来ますように。』」

3 わたしたちに必要な糧を毎日与えてください。

4 わたしたちの罪を赦してください、わたしたちも自分に負い目のある人を皆赦しますから。わたしたちを誘惑に遭わせないでください。』」

* * * *

MACF では礼拝の時に主の祈りを祈りますが、本文に加えて主の祈りをより深く理解しようと説明文を加えて読んでいます。2016年5月から始めています。

* * *

「主の祈り」

【天におられる私たちの父よ

空の彼方ではなく、万物を支える見えない世界「天」にいて、人の世の低みを見捨てず、絶対的な保護者としてそこにいてくださる私たちの父なる神様

【御名が聖とされますように】

あなたをそのお名前どおり「聖なる愛と恵みにあふれ誠実なお方」であるとすべての人が認めますように

【御国が来ますように】

御国すなわち「救いと平和と喜び」による神の支配が、現実の生活の中にもたらされ、それによって私たちが神と人とを愛しつつ生きられますように。

【御心が天に行われるとおりに 地にも行われますように】

神のおられる天で実現されている神の御心が、この地上でも実現されることを願う心を持ってますように

【 私たちの日ごとの糧を、
今日もお与えください】

私たちの今日の分の食事、仕事、必要物を感謝とともに受け取れますように

【 私たちの罪をおゆるしてください。私たちも人をゆるします】

私たちの不信、いつわり、不誠実をおゆるしてください。また赦されるためにどれほど大きな犠牲が必要だったかを私たちに思い知らせてください。それによって人を赦せるようになれるように。

【 私たちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください 】

私たちにとっていちばんの誘惑は、自分の弱さ、不甲斐なさに絶望すること。やりなおす努力を放棄することです。また、何事も争わず、対立せず、波風を立てずに収めたいという思いも大きな誘惑です。

私たちの優しさが、不正に満ちた体制を支えることになりませんように。

私たちが互いに絶望することなく、この世の中で生きられますように。

【 国と力と栄光は、永遠にあなたのものです 】

アーメン

* * * * *

これらの説明文を丁寧に読みながら、この聖書の箇所を受け止め

「私たちと神様」との間の祈りであると同時に「私と神様」との間の祈りであることを心に留めながら、しっかり祈り続け、唱え続けていきたいものです。

祝福がありますように！

どうぞ、こちらからお聞きください。

<https://youtu.be/hJffmSMn7pc>